

つもった雪

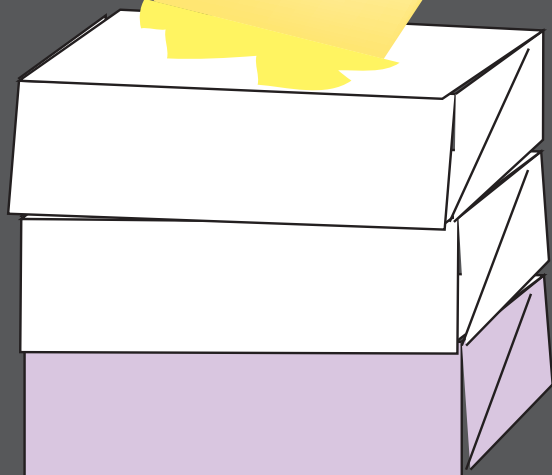
金子みすず

(1903-1930)

上の雪
さむかろな。
つめたい月がさしていて。

下の雪
重かろな。
何百人ものせていて。

中の雪
さみしかろな。
空も地面（じべた）もみえないで。



金子みすずは、私の好きな詩人の一人です。26歳の若さでこの世を去るまで512編もの詩を綴ったそうです。

*積み木の折図